



国営沖縄記念公園首里城地区 建設の記録

【平成の復元】

沖縄開発庁沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所

平成6年3月

国営沖縄記念公園首里城地区 建設の記録

【平成の復元】

沖縄開発庁沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所

平成6年3月

はじめに

平成4年11月3日の文化の日に、沖縄の歴史と文化を象徴する首里城とその周辺が国と県の都市公園として甦った。全体計画約18haのうち首里城正殿等の主要施設を含む約4haの部分開園であり、昭和20年の第二次世界大戦で灰燼に帰して以来およそ半世紀ぶりの復元整備となる。

今回の復元は「首里城の復元なくしては沖縄の戦後は終わらない」との県民の強い思いを背景に関係者の精力的な取り組みがあつてはじめて可能となったものである。

また、正殿をはじめ様々な重要施設を時代考証に基づき可能な限り正確に復元整備するものであり、その工事内容は、かつて沖縄に継承されていた伝統技法の復活から最先端技術の活用まで、極めて広範多岐に渡っている。

更に、実際の施工段階においても、漆の塗師、石工、宮大工、陶工、造園工等非常に広範囲な職種の人々が多数参加し、その中で、はじめての経験からくる多くの問題を相互に調整しながら、完全復元を目指して一つ一つ地道に解決して復元整備を進めたものである。これにあたった関係者の苦労と努力は並々ならぬものがあり、かつ、その経験は極めて貴重なものであった。

今回の復元整備そのものの重要性は当然であるが、これに至る様々な段階での貴重な経験を、広く後世に伝えることも極めて重要な役割であると考え、今回建設の記録として取りまとめるとした。取りまとめにあたっては、当時の状況をできる限り正確に記録するように努めた。

この建設の記録が今後遠い将来に予想される本施設の改修工事の際の参考資料として、あるいは同様な復元整備事業の参考事例として活用されることを期待する。

平成6年3月

国営沖縄記念公園事務所長

西川 嘉輝

又
一
しょりもり
げらへたる
かみしもの
世そろゑる
まだまもり
げらへたる
きよらや

あおりやへがふし
一
げらへて
きよらや
ぐすく
げらへて
きよらや

あおりやへがふし

一
しょりもり
げらへて
きよらや
ぐすく
げらへて
きよらや

(説)
首里城を造営して
造りたる美しさよ
この琉球の社会を
ひとつに合わす城よ
首里城を造つて
造営したる美しさよ

*
沖縄最古の歌謡集

国営沖縄記念公園首里城地区 建設の記録

目 次



はじめに

卷頭写真 7

第1章 首里城の歴史と公園整備の経緯

1. 琉球王国と首里城の歴史	39
■沖縄の歴史概説	39
■首里城の歴史概説	39
2. 首里城の特徴	40
■空間構成	40
■御庭と周辺の施設	41
3. 第1期開園に至るまでの経緯	42
■首里城跡地周辺の文化財建造物の復元・修理	42
■首里城の復元・整備	43
■国営沖縄記念公園首里城地区の整備計画	44
■正殿の復元計画	48

第2章 事業概要と施設の特徴

1. 全国の国営公園	53
2. 首里城公園の概要	53
■公園の構成	53
■事業主体と整備費	56
■管理体制と公園の現況	56
■国営沖縄記念公園首里城地区利用実態調査	57
■事業経緯	58
3. 各施設の歴史的経緯と特徴	59
■建築物	59
■城壁	65
■舗装	66
■植生	66

第3章 工事の実施内容

1. 工事の経緯・催し	67
■国営公園区域の整備工事	67
■首里城正殿建築工事	67
■一部開園までの催し	68
2. 工事の実施内容	69
■建築物	69
(1) 正殿	69
(2) 正殿両廊下(南之廊下、西之廊下)	99
(3) 瑞泉門、漏刻門	101
(4) 広福門	105
■電気設備	111
(1) 首里城公園の電源設備の形態	111
(2) 正殿	111
(3) ポンプ室	114
■機械設備	115
(1) 首里城公園の機械設備	115
(2) 正殿	115
(3) ポンプ室	117
■造成	119
■不発弾対策	121
■石積	123
■園路・広場	128
■工作物	129
■植栽	133
■屋外設備	136
(1) 電気設備	136
(2) 機械設備	138
3. 工事の写真解説	
■建築物	139
(1) 正殿	139
(2) 正殿両廊下(南之廊下、西之廊下)	171
(3) 瑞泉門、漏刻門	176
(4) 広福門	184
(5) ポンプ室	190
■石積	192
■園路・広場	200
■植栽	201

第4章 工事工程表

・全体工程表	203
・正殿	204
・正殿両廊下、瑞泉門、漏刻門	206

・広福門、ポンプ室	207
-----------	-----

・石積、植栽等	208
---------	-----

第5章 図面集

・全体配置図	209
・正殿	210
・正殿両廊下(南之廊下、西之廊下)	228
・瑞泉門	232
・漏刻門	234
・広福門	236
・ポンプ室	240
・石積、園路・広場	242
・植栽	261
・工作物	263

第6章 設計・監理、施工業者一覧

・沖縄総合事務局	265
・調査・設計業務	266
・正殿建築工事	267
・広福門等建築その他工事	268
・石積、園路、植栽工事	269
・その他工事	270

第7章 資料編

・百浦添御殿普請付御絵図并御材木寸法記	271
・国宝建造物沖縄神社拝殿図(抜粋)	287
・正殿跡遺構平面図	305
・久米赤土彩色顔料調査	307
・国営沖縄記念公園首里城地区官報 関係資料	311

編集にあたって



西側上空より見た首里城公園の中心施設。中央奥に正殿、右に南殿・番所、左に北殿、手前は奉神門（平成6年3月）





歓会門横の石積より見た主な建物群





歓会門横より瑞泉門方向を見る



瑞泉門　かつて門の両脇に石獅子があった



龍樋 上方に瑞泉門が見える



この龍樋は1523年に中国から持ち込んだものと言われている



漏刻門 右手の屋根は広福門



漏刻門裏側



廣福門



廣福門南側 右が券売所、左が便所となっている。 手前の広場は「下之御庭」



正殿正面 沖縄最大の木造建築物で、三階建てとなっている





正殿唐破風 この部分は特に装飾性に富んでいる



正殿唐破風の龍頭棟飾を側面より見る。釉薬の施された焼物で製作している



正殿向拝見上げ 中央に「牡丹に唐草」、左右に「金龍」の木彫刻

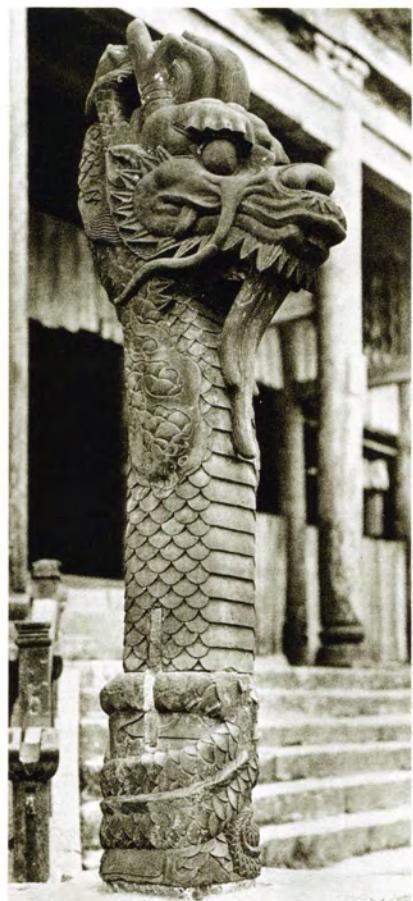


正殿基壇上より御庭を見る。中央に「浮道」と呼ばれる磚敷の通路があり、その左右に帯状に磚が敷かれている





正殿大龍柱（吽形）



戦前の大龍柱（吽形）胴体の一部が欠損している



正殿小龍柱（吽形）



戦前の大龍柱（阿形）



正殿大龍柱（阿形）



正殿小龍柱（阿形）



正殿大龍柱（阿形）



正殿大棟の龍頭棟飾（北側）



正殿一階御差床正面 中央には国王、右に太子、左に太孫が着座した
ウサスカ



正殿大棟の龍頭棟飾（南側）



正殿一階御差床 柱に描かれた「金龍五色之雲」。正面にはししゅうを施した垂飾がついている



正殿二階御差床正面
漆真塗沈金の高欄、金箔押の龍柱など、豪華な装飾が施されている



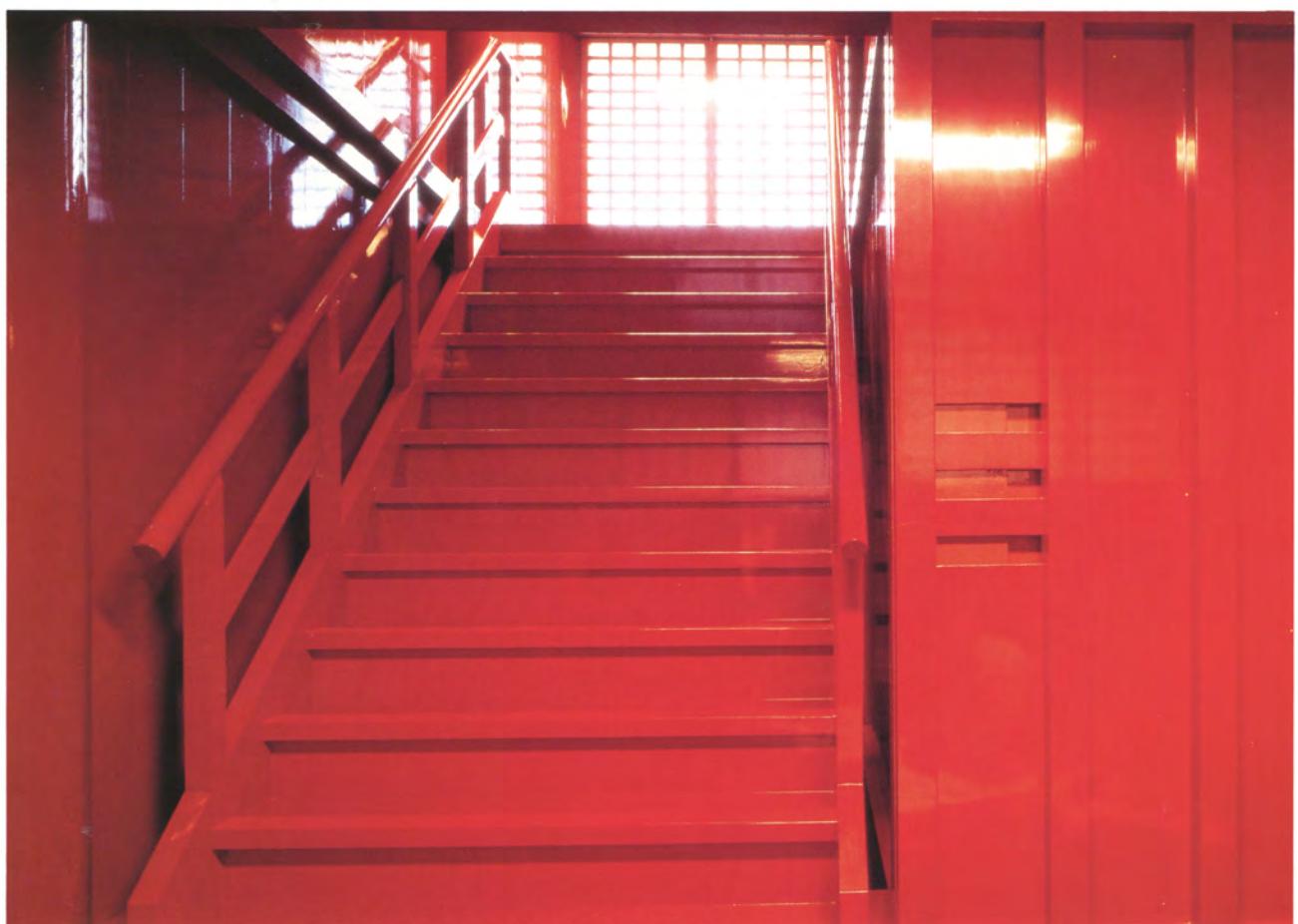


正殿二階御差床側面



正殿「おせんみこちや」の部屋 左奥には火の神を祀った「御床」がある

ヒスカン



正殿一階御差床裏にある国王専用の階段（おちょくい） 漆赤塗となっている



ごきょうい
御轎椅 国王専用の椅子で漆朱塗沈金が施されている



同左 詳細



正殿三階内部



御庭を取り囲む建物群 正面奥は正殿、右は南殿・番所、左奥は北殿、手前は奉神門（御庭と南殿・番所、北殿、奉神門は住宅・都市整備公団が整備を行った）



右は番所、左は南殿 この建物は白木の造りとなっている



北殿



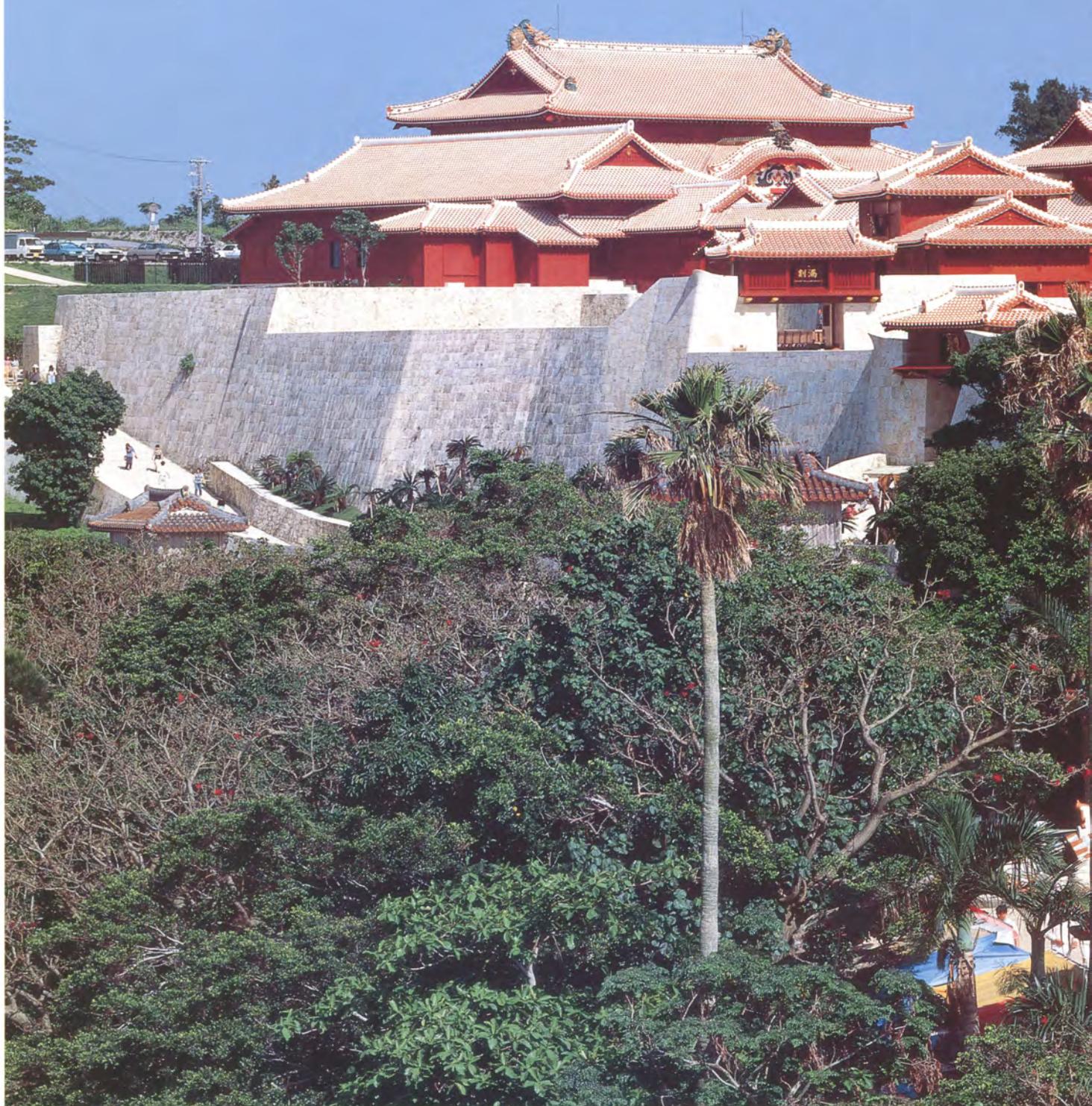
下之御庭より見た奉神門



イリ
西のアザナより中心施設を見る



右掖門から久慶門に続く石畳道



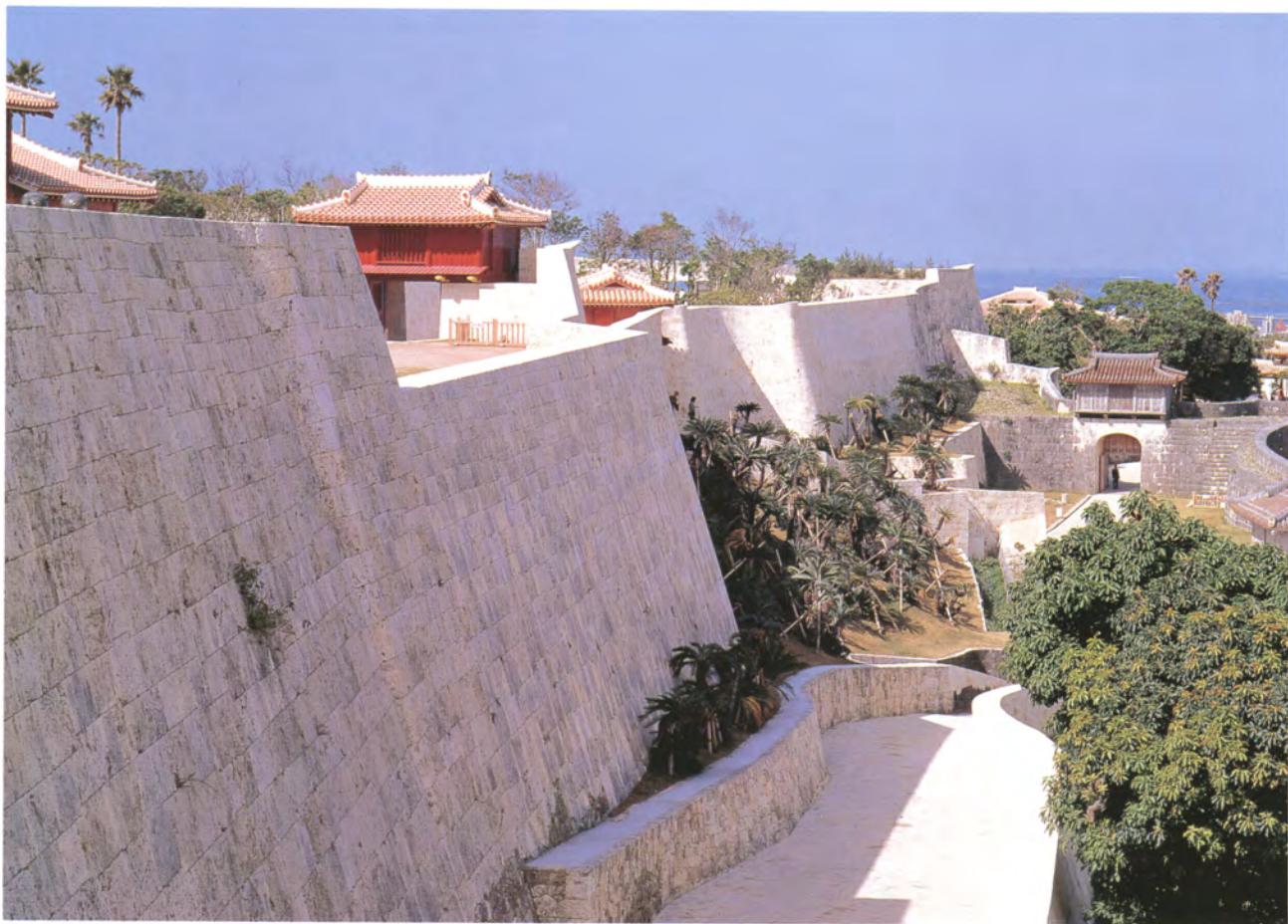
首里城の遠望 手前は守礼門



首里城の夜景



北側より見る首里城の夜景



右掖門付近より歓会門を望む



「京の内」付近より那覇市街を望む。 手前の園路は木曳門に続いている



開園式典（平成4年11月2日）



「琉球王朝絵巻」（平成4年11月8日）



天皇皇后両陛下行幸啓（平成5年4月26日）



常陸宮殿下妃殿下御成り（平成5年6月29日）